

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（1 / 3 ページ）

種目(教科等)【家庭】

項 目	教科書名 新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して 会社名(東 書)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○基礎的・基本的な知識・技術の習得を図るために、「基礎技能」のページを設けたり、分かりやすくするため写真やイラストを多く掲載したりしている。</p> <p>○進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てるために、「考えてみよう」「やってみよう」等で、生徒にはたらきかける構成になっている。</p> <p>○伝統と文化を尊重する態度を育てるために、「伝統・文化」のマークを付けて学べるようになっており、日本のよさを考えさせる構成になっている。</p>
特色	<p>特 内 容</p> <p>(ア) 基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫</p> <p>○身につけさせたい基本的な技術を「基礎技能」のページにまとめ、手順や方法について、大きなイラストや写真の資料を用いて確認できるようになっている。</p> <p>○「学習のまとめ」のページでは、「大切な用語」が用語とともに振り返ることができるように解説ページも記載されている。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等を育成する工夫</p> <p>○「考えてみよう」「やってみよう」は、生徒に考えさせる機会を増やし、気づきを伝えあう表現の場になっている。</p> <p>○「生活の課題と実践」において、進め方が詳しく掲載されていることで、思考の流れを自分で作れるようになっている。</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む態度を養う工夫</p> <p>○各編の導入が見開きになっていることで、見通しをもって学習を進められるようになっている。</p> <p>○実習例が多く、活動手順では写真を多く用いたり、被服製作では、ポイントとともに図を用いたりして、生徒の意欲が高まるように工夫されている。</p> <p>(エ) 実践的・体験的な学習活動を行う工夫</p> <p>○各章では、キャラクターによる吹き出しで、生徒へ実践的・体験的な活動をはたらきかけるように工夫している。</p> <p>○多様な実践例を示している。特に調理実習例では、主菜・副菜・汁物を見開きで1食分として掲載されている。</p> <p>(オ) 課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育成する工夫</p> <p>○全ての学習後に「生活の課題と実践」のページを設け、1課題 2計画 3実践 4振り返り・見通し 5改善 6次の課題とし、まとめや発表の仕方を明記している。</p>
	<p>資 料</p> <p>○多様な学習計画に対応できるよう、写真やイラストなど、豊富に掲載している。</p> <p>○巻頭の構成やガイダンスのページ内容が多岐にわたり掲載されている。</p> <p>○幼児の靴や箸、手ばかり・目ばかりを実物大の写真で取り上げている。</p> <p>○「資料マーク」を用い、課題を考える上で参考になる資料を掲載している。</p> <p>○小題材の上部に他の教科との関連についての掲載がある。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○A～Dの順の配列ではない配列になっている。</p> <p>○1編～4編の色分けやタイトルから、学習内容が理解しやすい。</p> <p>○生徒の興味・関心をひくようにページの左下にクイズが掲載されている。</p>
総 括	<p>○ガイダンス、B（食生活）C（住生活）A（家族）D（消費・環境）の内容順に配列しており、「生活の課題と実践」を巻末に掲載している。</p> <p>○学習のまとまりごとに「目標」が設定されており、その後の学習の流れも掲示されているため、見通しをもって学習できるようになっている。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（2 / 3 ページ）

種目(教科等)【家庭】

項目	教科書名 新技術・家庭 家庭分野 会社名(教 図)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○基礎的・基本的な知識・技術の習得を図るために、「キーワードチェック」で個々の理解度の確認ができるようになっている。</p> <p>○進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てるために、「生活の課題と実践」では、内容ごと6つのステップで実践に結びつける構成になっている。</p> <p>○伝統と文化を尊重する態度を育てるために、実際の生活を振り返りながら衣食住等の伝統文化を学び、伝承の意義を理解して実践につなげる構成になっている。</p>
特色	<p>（ア）基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫</p> <p>○「キーワードチェック」は、重要語句が記されており、基礎的・基本的な知識・技術の習得の確認ができるようになっている。</p> <p>○内容ごとに「学習のふり返り」のページがあり、基本的な知識の習得が確認できるようになっている。</p> <p>（イ）思考力、判断力、表現力等を育成する工夫</p> <p>○「学習のふり返り」の「学習をこれからの生活に生かそう」では、学習をまとめながら判断力や表現力を高めるように構成されている。</p> <p>○各題材にある吹き出しのセリフが、学習を深める気づきや思考力を高める手助けとなっている。</p> <p>（ウ）主体的に学習に取り組む態度を養う工夫</p> <p>○「自立度チェック」「考えよう」やクイズ形式での問いかけを活用して、学習への関心・意欲を高めるような工夫となっている。</p> <p>○「キーワードチェック」の欄を設け、学習前や学習後に重要語句を主体的に確認できるようにになっている。</p> <p>（エ）実践的・体験的な学習活動を行う工夫</p> <p>○A～Dの領域の全てに、日常生活で行われる生活行動が実習内容となっており、より実践的なものとして生徒が受け止められるように工夫されている。</p> <p>○「つくってみよう」では、具体的に準備する量や工程を写真やイラストなどを多く掲載し、興味を持って取り組めるようになっている。</p> <p>（オ）課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育成する工夫</p> <p>○各内容の学習後に「生活の課題と実践」が設けており、1課題 2計画 3実践 4まとめ・発表 5ふり返る 6実践とし、吹き出しのアドバイスが掲載されている。</p>
	<p>○それぞれの地域や学校での多様な指導計画に対応出来るよう、写真や図、イラスト等資料が豊富である。</p> <p>○題材ごとのチェックやクイズが生徒の関心をひく。</p> <p>○実習の基礎基本に関わるページ、安全のためのページが工夫されている。</p> <p>○防災に関する資料が詳しく掲載されている。</p> <p>○「衣生活の自立」で「衣服の汚れを落とす」資料が詳しく掲載されている。</p>
	<p>○全体的に細かく、挿絵や説明が入っている。</p> <p>○見出しが章別に色分けされており、学習内容を短い言葉で示している。</p> <p>○キャラクターのつぶやきが、学習のポイントを示している。</p>
総括	<p>○ガイダンス、A（家族）B（食生活）C（衣・住生活）D（消費・環境）の内容の順に配列し、「生活の課題と実践」を各内容の後に掲載している。</p> <p>○「キーワードチェック」欄や「学習のふり返り」の掲載により、問題解決的な学習の流れを意識した構成である。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（3 / 3ページ）

種目(教科等)【家庭】

項目	教科書名 技術・家庭科(家庭分野)	会社名(開隆堂)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○基礎的・基本的な知識・技術の習得を図るために、「やってみよう」「話し合ってみよう」等、1時間の学習の流れを意識した構成である。</p> <p>○学んだ知識や技術を生活に生かすために、「生活の課題と実践」を巻末に置き、実践につなげる構成である。</p> <p>○伝統と文化を尊重する態度を育てるために、「伝統文化」のマークがあり、実践につなげる構成である。</p>	
特色	特 内 容	<p>(ア) 基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫</p> <p>○「学習の目標」「学習のまとめ」等、生活に必要な知識や技術が習得されたか確認することができるような構成になっている。</p> <p>○「豆知識」の掲載や、写真・イラストを多く用いることで、基礎的・基本的な知識や技術を習得させる工夫がみられる。</p> <p>(イ) 思考力、判断力、表現力等を育成する工夫</p> <p>○吹き出しを用いて、気づいてほしいポイントの強調や思考力を高める問いかけを行う工夫がされている。</p> <p>○調理実習の実習例を単品で取り上げ、「プラス1」の掲載から1食分の献立のつけ合わせを考えさせる工夫がされている。</p> <p>(ウ) 主体的に学習に取り組む態度を養う工夫</p> <p>○被服製作の例や肉・魚・野菜の調理実習の例が写真とともに豊富に掲載され、学習への関心・意欲を高めさせる工夫がみられる。</p> <p>○学習活動を促す様々な視点を各種マークで分かりやすく示し、主体的な学習へとつなげている。</p> <p>(エ) 実践的・体験的な学習活動を行う工夫</p> <p>○日常生活の中で生じる様々な生活行動を、具体的な事例として取り上げた体験活動が示されている。</p> <p>○「幼児との触れ合い」では、学校や地域の実態に応じて活用できるような実践例を多く掲載している。</p> <p>(オ) 課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育成する工夫</p> <p>○全ての学習後に「生活の課題と実践」を設けており、流れをステップ1課題 2計画 3実践 4結果 5評価とし、「リンクマーク」で既習内容のふり返しをしている。</p>
	資 料	<p>○多様な学習計画に対応できるよう、写真やグラフなど、豊富に掲載している。</p> <p>○「食生活と自立」において、食品群別摂取量のめやすの和食・洋食での食材の使用量の違いが掲載されている。</p> <p>○「持続可能な社会をつくる」において環境に関する資料を掲載している。</p> <p>○中学生の実習例や作品例が紹介されている。</p> <p>○食品の切り方や衣服の補修等で、細かく説明されている。</p>
	表記・表現	<p>○写真やレイアウトがすっきりしている。</p> <p>○小題材ごとに学習目標が記載されており、目標を常に意識することができる。</p> <p>○各ページの下部分に「豆知識」の掲載をしている。</p>
総 括	<p>○ガイダンス、A(家族) B(食生活) C(衣・住生活) D(消費・環境)、「生活の課題と実践」の順に配列されている。</p> <p>○「学習の目標」を明記し、学習のまとめごとに「ふり返し」欄を設け、自己評価できるようにしている。</p>	

